

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15104008	全地球史解説 Part II	丸山 茂徳（東京工業大学・大学院理工学研究科・教授）	A
<p>この研究は、46億年の地球の歴史全般を見通した上で、地球史を決定づけた特異点として四つの年代を選び、精密サンプリング、微化石の抽出、同位体分析の研究などを基にして、大規模地球変動記録を詳細に調べることを目的としている。研究の目的はおおむね達成されたと判断できる。特に、スーパープレームの形成モデルについて、学術的に重要な新知見をもたらした。また、これまでに得られた知見も加えて、固体地球変動、表層環境変動、および生命進化の関係を総合的に捉えた示唆に富むモデルを分かりやすく提示した。</p> <p>今後、それらのモデルの根拠となるデータと、その解釈がさらに高分解能・高精度・高信頼度の分析によって検証されることを期待したい。</p>			